

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、17～21 台を示し、やや高めでした。

〔漁況概要〕

中小型まき網---西彼地区では、マイワシが1日1統当たり34トンの水揚げで、前週の2.3倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マイワシが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり22トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。

イカ釣----スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり26kgの水揚げで、前週の33%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり285kgの水揚げで、前週の15%（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり24kgの水揚げで、前週の56%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり137kgの水揚げで、前週の15%（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり0.6kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。

定置網----五島魚目地区では、マイワシなどが1日1統当たり623kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり141kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり157kgの水揚げ。

一本釣----北松宇久地区では、イサキが1日当たり783kgの水揚げで、前週の1.8倍（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり4kgの水揚げで、前週の67%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（4/25～4/30の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、切上中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～島根半島沖～鳥取沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、3日延4隻、総計279箱、1航海最高105箱、平均69.8箱。スルメイカ（20～30入）270箱、ケンサキイカ（2～2立半）9箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>